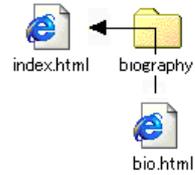


## 絶対的なパス表記によるリンク

以前に説明した「相対的なパス表記」では、例えば「ひとつ上」や「xxx フォルダの下」というような表記しかできなかった。例えば右図のようなリンクは次のように「../」を利用して書いた。



```
<a href= " ../index.html " >[一つ上へ]</a>
```

しかし場合によっては、「xxx 氏のページ」や「京都産業大学のトップページ」にリンクを張りたい場合もある。このような場合は、絶対的なパス表記を用いる。

## 別の WWW サーバへのリンク

実習で利用する WWW サーバは京都産業大学の WWW サーバ、www.kyoto-su.ac.jp である。これ以外の、外部の WWW サーバ上のどこかのページに対するリンクを設けたいときは、下記のように、対象 URL をそのまま書けばよい。

対象 URL が http://www.dokodaka.co.jp/xxx.html なら、

```
<a href= " http://www.dokodaka.co.jp/xxx.html " >[XXX 氏の一日]</a>
```

## 同じ WWW サーバ内での絶対表記

リンク先が、自分が利用している WWW サーバ内のページであれば以下のようにも書ける。(もちろん http://www.kyoto-su.ac.jp/... と書くこともできる。)

対象 URL が http://www.kyoto-su.ac.jp/index.html なら、

```
<a href= " /index.html " >[京都産業大学へ]</a>
```

対象 URL が http://www.kyoto-su.ac.jp/~yasuda/index-j.html なら、

```
<a href= " / yasuda/indexj.html " >[安田のページへ]</a>
```

つまり、対象 URL である http://www.kyoto-su.ac.jp/~yasuda/index-j.html のうち、京都産業大学の WWW サーバであることを示す部分 (http://www.kyoto-su.ac.jp) を省略して書いていることになる。この時先頭が常に「/」(スラッシュと読む)ではじまっていることに注意。スラッシュ以外の文字で始まっている場合は、相対的なパス表記と考慮して処理される。

パス指定	リンク先
/index.html	http://www.kyoto-su.ac.jp/index.html
index.html	この HTML ファイルのすぐ隣にある index.html ファイル
/~yasuda/index-j.html	http://www.kyoto-su.ac.jp/~yasuda/index-j.html
~yasuda/index-j.html	この HTML ファイルのすぐ隣にある ~yasuda というフォルダの中にある index-j.html ファイル

## 絶対パスによる画像の参照

リンクに限らず、画像などもそうやって参照できる。

```
<img src= " http://www.kyoto-su.ac.jp/ yasuda/icon/back.jpg " >
```

ただしこうした利用の場合は、画像などの利用権に注意すること。複製して利用しているのとなんら変わらない。

## WWW サーバやファイルの位置関係

- WWW サーバはインターネット上に多数、それぞれ独立して存在している。
- 一つの WWW サーバの中には「/」で始まる階層的なフォルダがあり、HTML ファイルなどはこの大きなツリー構造の中に収まっている。
- 受講生が作成する HTML ファイルなどはこの大きな WWW ファイルツリーの一部分となる。(サブツリーなどと表現する)

